

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年9月9日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年9月9日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【6号機非常用ディーゼル発電機(A)の電圧検出用継電器の管理値逸脱について】 協力企業作業員が、6号機非常用ディーゼル発電機(A)の点検において、電圧検出用の継電器の特性試験を実施したところ、管理値の逸脱を確認。 当該継電器は、ディーゼル発電機(A)起動時の異常検知用であり、今回は早期に動作する方向だったため、異常検出に影響はなかったと推察。 今後、当該継電器を交換予定。 なお、点検中に交換を実施するため、電源系統への影響なし。</p>	GⅢ	9月7日
2	<p>【雑固体廃棄物焼却設備の焼却設備排気機械室用ローカル空調用室外機の冷媒微小漏えいについて】 当社社員が、雑固体廃棄物焼却設備の焼却設備排気機械室用ローカル空調用室外機の外観確認において、冷媒配管に巻かれた保温材表面にしみ込んだ水分により、微小な泡が出ていることを確認。 そのため、フロン漏えい検知器で調べたところフロン漏えいの反応があったため、保温材を外し漏えい箇所を確認したところ配管継ぎ目のろう付け部からわずかに漏えいしていた。 当該漏えい箇所の修理を実施し、現在は漏えいが無いことを確認。 なお、冷媒漏えいについて、福島県相双地方振興局へ連絡済み。</p>	GⅢ	9月7日